



④発信する ③追究する ②粘り強く ①つながる ⑥思いや願いを実現しようとする ⑤課題解決する

チャレンジが力になる時

校長 坂本陽子

学校にある木々が新しい緑の葉をつけ始め、目にまぶしい季節となりました。今年度が始まり、早くも1か月が過ぎました。

1年生は、学校のマスコットであるハロエを探しながら校内を探検する活動を楽しんでいます。初めての小学校で目にするものや出会う人、さまざまな場所に目を輝かせ、はてな（疑問）を見つけては、それを解決しようと一生懸命考えています。また、一年生を気遣いながら登校する高学年のやさしい姿に成長を感じ、子どもたちの生き生きとした表情から、これからの一年間への期待がふくらみ、幸せな気持ちになります。子どもたちのために学校としてできることを考え、日々努力している教職員とともに、初音が丘小学校に関わる皆さんと力を合わせ、よりよい学校づくりを進めていきたいとあらためて感じています。

進級し、新しい環境での生活が始まりましたが、お子さんの様子はいかがでしょう。慣れない環境に疲れや戸惑いを感じていることもあるかと思います。私たちの日々の生活には、うまくいくことや嬉しいことがある一方で、失敗したり思うようにいかなかったりして、悲しさや苦しさを感ずる場面もあります。そのようなとき、「やり方がよくなかったのでは」「やらない方がよかったのでは」と考えがちです。しかし、そこで立ち止まってしまうと、後悔だけが残り、次にもう一度挑戦してみようという気持ちが生まれにくくなってしまいます。

大切なのは、できたかできなかったかという結果だけで判断するのではなく、そこに至るまでの過程や挑戦しようとした気持ちを大事にすることです。うまくいかなかった経験は決して無駄ではなく、「次はどうしたらよいか」を考える力を育ててくれます。チャレンジすること自体に大きな価値があり、勇気を出して一歩踏み出した経験は、次の挑戦への自信や意欲につながります。ピンチはチャンス！このようなことがあったときにこそ、気持ちに寄り添い、挑戦しよう、やってみようとしたことに対してその行動、勇気を認めたいものです。

学校では、子どもたちが安心して挑戦できる雰囲気を大切に、一人一人の思いや努力に寄り添った指導を続けていきます。今後も、ご家庭と学校が手を取り合い、子どもたちの小さな挑戦と成長を温かく見守っていければと思います。



初音が丘小学校4つのたいせつな心
～わたしとみんなの幸せのために～

あいさつは心をこめて

じかんをまもって安心・安全

チャレンジする心をもって

きくときは目と耳と心で

